おみやげは、「新たなえにし」 o(^^o) (o^^o) (o^^)o

◆「えにし」出生の秘密◆

福祉と医療・現場と政策の「新たなえにし」を結ぶ会は、2001 年５月 12 日、ここ、プレスセンターで誕生しました。
困難な体験を逆手にとって突破口を切り開いているさまざまな分野の当事者、
制度や予算の壁にぶつかりながら医療・福祉現場で奮闘しているスタッフ、
つくった制度や政策がほんとうに役にたっているかどうか心配している行政官、首長、
勉強熱心な新聞、テレビ、出版社、研究機関のみなさん……
朝日新聞を離れる　一人のジャーナリストと縁があるという、ただそれだけで集まってくださった 450 人の方々の間に、この日、不思議な「えにし」が結ばれました。そして、毎年、「新たなえにしを結ぶ会」が開かれることになりました。ことし、第９回を迎えました。

◆「つどい」の３つのシキタリ◆

その１：毎回、多彩、豪華な「えにし」の方が登壇してくださいますが、どんなに高名な方でも、講演料ナシ。「素晴らしい参加者の前で話せる、それは、“権利”なのだ」という理屈からです。
その２：プロによるパソコン要約筆記、手話、磁気ループ、指点字などを用意するのが慣例です。詳しくは、「えにし結び名簿」の最終ページをご覧ください。だれもが参加できるように、介助者からは参加費をいただかないのも慣例です。お子さまづれへの支援も始めました。
その３：席は、クジ引きです。「新たなえにし」を結ぶためです。話の糸口になる「名札」と「えにし結び名簿」を用意しました。名簿は大切な個人情報ですので小間使い、ゆきが、夜なべ仕事でつくりました。ミスがありましたら、yuki@spa.nifty.com　まで、お知らせくださいね。

◆糸ヘンづくし◆

胸元の名札の上下、このページの上下の縁飾りにお気づきになりましたか？拡大すると、
縁…絆…縁…絡…縁…紡…縁…編…縁…網…縁…繋…縁…繰…縁…糺…縁…紀…縁…紗
「縁」という字のあいだに糸ヘンの字がはさまれています。ＮＨＫの「キラッといきる」などでおなじみのグラフィックデザイナー、牧ローニさんが、デザインしてくださいました。
愉快なメッセージが添えられていました。
「人間っていろんな糸ヘンが絡みあい、紡ぎあって、編まれているんですよね。ネット（網）とか、繋がるとか。人と人の絆や縁に不思議なパワーを感じています。どうぞいつまでも継続していただけますように。結び。……な～んちゃって」。
糸ヘン飾りのついた名札は、ケースからはずして記念に、どうぞ(^_-)-☆。

◆「えにし」のホームページと「えにしメール」と◆

志をつなぐ道具として、HP、http://www.yuki-enishi.com/ と「えにしメール」と名づけたＢＣＣ同送メールを使って、マスメディアでは報じられない、でも大切な、みなさまの活躍をお知らせしています。
現場と政策、医療と福祉の縁結びをしたい。でも、宛て名を書いて、切手を貼って、印刷して、封筒に入れて。。。。という時間と能力に自信がないため、思いつきました。つどいのお知らせも、ご高齢の一部の方を除いて、今回から、メールでのお知らせだけにさせていただきました。
えにしの方々をご紹介した「優しき挑戦者の部屋」は、『恋するようにボランティアを～優しき挑戦者たち』（ぶどう社）という本になりました。霞が関のみなさんも登場する「物語・介護保険の部屋」も、近々　p(^-^)q
（HP は、「ゆきえにし」と入力して検索してくださると先頭に出てきます）

◆裏方ボランティアのみなさまに、こころからの感謝を!!!!!!!◆

ことしからカラーにしていただいたこのプログラムや、みなさまの胸もとの名札の印刷、舞台の上の看板、演壇のみなさまの前の「前垂れ」の作成、一次・二次会場の交渉、映像機材の設営、録音、録画、受付・チラシ封入ボランティアのとりまとめ……。
気の遠くなるような細々した裏方の仕事を、全国コミュニティライフサポートセンター（ＣＬＣ）の９人のみなさんが受け持ってくださいました。プロの腕前と夢をもった方々ばかりです。
みなさまとともに、こころからの感謝を捧げたいとおもいます。